



発行所
山鹿市山鹿55
圓頓寺
☎43-2424

第三十四世

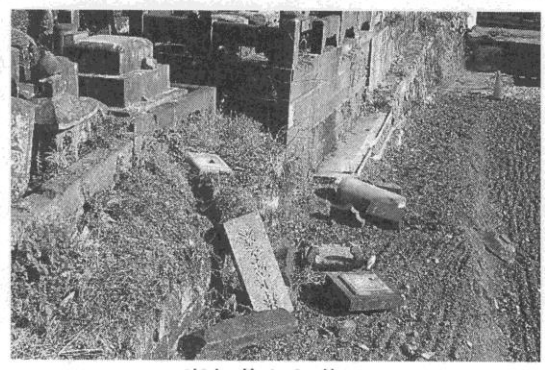
順境院日攝

合掌 夏至の候、常日頃より菩提寺の護持興隆にご尽力賜り、誠にありがとうございます。今回の平成二



十八年熊本地震にて、被災されました檀信徒の方々には、心よりお見舞い申し上げます。また、殉難犠牲者の霊位に対しましては、五月の法要にて御回向申し上げ、早期復興の祈願を申し上げます。

当山も、震度五強の地震により、本堂の棟瓦の一部崩落、本堂柱の傾きの増大、本堂内外の壁のヒビ、鐘楼堂の傾き、山門前の仁王尊像（江戸期作）の駐車場下段への崩落全壊、鬼子母神像一部損壊、境内の大灯籠全壊、境内墓地の墓石や灯籠・記名塔の倒壊三十五基程、法華経一字一石宝塔の破損



崩れ落ちた墓石

など、大きな被害を受けました。

古い本堂や山門の倒壊を免れただけでも、佛菩薩と諸天善神の御加護と、感謝しなければならぬ状況であります。

当山圓頓寺は、寛永元年（二六二四）に日蓮宗寺院として創建されました。肥後清正公本妙寺の末寺の直末の古刹であり、山鹿市（旧

鹿本郡市）地区お題目発祥の霊蹟として、歴代三十四世にわたり、絶えることの無いお題目信仰の永い歴史を有し、現在に至っております。これだけの法華信仰を保ち続ける日蓮宗寺院は、山鹿市内では当山のみであり、故に唯一無二の寺歴を有します。

現在の本堂は、天保年間の大火後、嘉永二年（一八四九）に再建されたもので、入母屋破風造の梁間七間、桁行七間の造りにて、木鼻と虹梁への浮彫の彫刻が秀麗であります。また、江戸建築の本堂は、県内本宗寺院において、大変貴重な建築物でもあります。

しかしながら、築約百七十年の星霜により地盤の沈下の影響で、柱の歪みや腐食はシロアリ被害も重なり、

相当なものになってきております。屋根瓦の傷みも相
当に進み、ここ十年ほどは、
豪雨のたび雨漏りが発生す
る痛ましい状況下となって
おります。昨年八月の台風
にても甚大な被害を蒙りま
した。前述の報告のとおり、
地震にても多くの損壊箇所
を生じました。現住職とし
て、この現状にては、御本尊
さま諸天善神さまはもとよ



駐車場へ崩落全壊した仁王像



り、菩提寺に安住しておら
れる檀信徒皆様方の全ての
御先祖の御霊に対して、只々
申し訳のないことでありま
す。
昨年度の護持会総会にて、
本堂改修の建設準備委員会
の設置発足を御承認いただ
き、本年度三月の護持会総
会にては、満場の一致をもつ
て建設委員会に格上げし新
たに組織立てを行い、大改

修に向けて、会議を重ねて
います。年内中には臨時
の護持会総会を開き、この
大事業の御承認をいただき、
趣意書の配布、浄財の勧募
が開始できれば、住職とし
ては幸甚であります。
檀信徒の方々には、なる
べく御負担少なくなるよう、
住職はもとより、院首(前住
職)と坊守も私財をなげう
つ覚悟で、今般の大改修に
臨む所存であります。これ
らの心中を御斟酌いただき、
震災後かつ景況下の厳しき
折ではあります。衷心より
御協力のほど、よろしく
お願いする次第であります。
どうか、この大浄業の趣旨
を御理解いただき御協力を
賜りますよう、改めてお願
い申し上げます。 再拝

JA鹿本(株)鹿本広域福祉センター総合葬祭会館

やすらぎの里



天 寿 苑

〒861-0535 熊本県山鹿市南島1246(山鹿大橋そば)

TEL. 0968-44-0983

葬儀場・法事会館を併設した総合葬祭会館です

法華経と御遺文の学習

「先の所望に非るを、
而も今、自ら得ること、
彼の窮子の無量の宝を
得るが如し。」

『妙法蓮華経信解品第四』

今回の経文は、『妙法蓮華
経信解品第四』の章中の経
文です。この章中には、法華
七喻という、七種の例え話
の一つであります。長者窮
子の譬えが出て参ります。



(大日蓮出版の絵本シリーズ)

とても大切な教えが含まれ
た例え話であります。

長者窮子の譬え、という
例え話は以下のようなもの
です。

ある長者には、はるか遠
い昔に一粒種の子供と生き
別れた過去がありました。
年老いても財産を相続する
ものがおらず、心が沈んで
いました。そこへ、突然、長
者の門前に、心身共に落ち
ぶれ果てた姿の息子があら
われました。息子に財産を
譲ろうとしても、長者の地
位名誉財産の大きさに畏怖
して、決して受け取ろうと
しないのです。息子は、現在
の落ちぶれた境遇なりに満
足していたからなのです。
そこで、長者は一計を案



気軽に寺小屋で講話(15ページ参照)

じ、息子に簡単な仕事を与
えました。父子共に働くこ
とを通して、息子の心身の
向上をはからせたのです。
最初は、便所掃除から。努
力を重ね、徐々に息子は平
常な心身を取り戻し、やが
ては、財産管理の仕事をも
任せられるまでに成長した
のであります。最後は、父
子共々安心して財産の移譲
が行われたのであります。
長者窮子の譬えの話しを
通して、経文の意味を説明



地域に密着した熊本の保険代理店

アップワード エスト保険

取扱生命保険会社

- アクサ生命 ■NKSJひまわり生命 ■アメリカンファミリー生命 ■大同生命 ■メットライフ生命
- 東京海上日動あんしん生命 ■オリックス生命 ■ソニー生命 ■エヌエヌ生命

取扱損害保険会社

東京海上日動火災保険

〒862-0965 熊本市南区田井島1-3-50 ガレリア2 -84-8890 XA7

Tel. 096-223-8105 FAX. 096-223-8106 email:esthoken@royal.ocn.ne.jp

してみます。長者とは仏さまであり、息子は私たちのことです。財産とは法華經のことです。

長者(「仏さま」)が、息子(「私たち」)に自然と財産(「真理の教え法華經」)を授与されたように、私たちは、末法の汚濁の安逸した現況に満足してはならないのです。仏さまの教えに随い、精進していけば、自ずと法華經の教えを頂戴できるようになるのです。私たちは、この窮まった息子のように信仰と功德を重ねていけばあえて望まなくても自然と法華經の教えを、仏さまより譲与していただけるのです。以上が、今回の経文の意味であり教えであります。

「籠の中の鳥なけば空とぶ鳥のよばれて集るが如し。空とぶ鳥の集れば籠の中の鳥も出んとするが如し。口に妙法をよび奉れば我身の仏性もよばれて必ず顕れ給ふ。梵王・帝釈の仏性はよばれて我等を守り給ふ。仏菩薩の性はよばれて悦び給ふ。仏になる道には、我慢偏執の心なく南無妙法蓮華經と唱へ奉るべきものなり。」

『法華初心成仏鈔』
続いて、日蓮大聖人の御遺文です。
以下、日蓮大聖人のお言葉が発露されるとい



寒修行に立出

ことは、一体どの様なものなのでしよう。このことも、日蓮大聖人は、鳥の鳴き声で例えておられます。以下、日蓮大聖人のお言葉を現代語に訳します。籠の中の鳥が鳴けば、仲間の中の鳥が寄ってきます。大空を自由にはばたく鳥の群れを見れば、籠の中の鳥は自由を求めます。仏性の顕現とは、こういった自然なものなのです。

盛文社印刷

山鹿市下町1807
TEL 0968-43-2604
FAX 0968-43-6075

生活環境に、やさしい企業

水廻りの事ならすべてOK!

TORAYA SHOKAI

合資会社 **とらや商会**

TEL(0968)43-2212 FAX(0968)44-5990
〒861-0532 熊本県山鹿市鹿校通一丁目3番29号

唱題読誦すれば、自身の
 仏性は自ずと顕れます。な
 おかつ諸天善神の仏性も自
 ずと顕れ、守護をしてくだ
 さるものなのです。あわせ
 て仏さまや菩薩さまの仏性
 も自ずと顕れ喜んでくださ
 るのです。
 輪仏になろうとする道とは、
 うぬぼれや執着心を戒めて、
 ただひたすらに素直な気持
 ちで、お題目をお唱えする
 ことが肝要なのです。
 以上が大意です。私たち
 の仏性が顕れるということ
 は、現世即身での成仏の相
 と性と体を得るということ
 です。それには、清浄な心で
 のお題目修行が必要であり、
 必須なのであります。
 まとめますと、仏性の開
 顕＝成仏＝清浄なお題目、
 ということになります。



塩田和香上人を紹介する住職

日蓮大聖人初講法要・六大法要にて
 初めて尼僧が御説教

寒の緩みの冬晴れの正月
 十三日、六大法要の最初の
 行事であります初講法要が
 厳修されました。
 初講法要とは、日蓮大聖
 人の年度の初命日を偲び、
 報恩感謝の心を表わす、大
 切な法要の一つでもありま
 す。本堂講行は、

年度またぎでの除夜の鐘
 と新年祝祷や、正月三が日
 の初参りはもちろんありま
 すが、多くの檀信徒の方々
 にとつては、この日が菩提
 寺への初参りという、大切
 な意義を有した法会であり
 ます。法要式では、年頭初命日
 忌の日蓮大聖人に報恩謝徳
 の御回向を捧げ、余慶の功
 徳をもって、御先祖供養と
 諸祈願との成就をお祈り申
 上げました。

そして、今回は御法話講
 師として、六大法要では初
 めて女性僧侶、尼僧として
 の長洲町・日感寺の塩田和
 香法尼に御説教をいただき
 ました。男性僧侶と感性の



拜む心で尊い品を

梅谷佛具店



仏壇・仏具・寺院用具
 寺院納骨堂設計施工

本店

〒812-0027 福岡市博多区下川端町10-9
 TEL (092)271-0456 • FAX (092)271-0464

工場

〒819-0373 福岡市西区周船寺3-9-4
 TEL (092)806-7499 • FAX (092)807-1079

違う女性僧侶ならではの、優しい言葉と柔和な内容の御説法で、聴聞された方々は、大きな新鮮さをお感じになられたようでありました。後日、大変好評であった旨を多くの参拝者からお聞きしました。善き御法話を頂戴できありがたい法要になりました。

(順境院日攝・記)



塩田上人の法話



住職出立の祈りと参加者

寒波でも休まず寒修行

寒波襲来

この冬最強の寒波が入り始めた一月二十三日、寒修行に参加しました。

お寺に着いたときはすでに数名の方が準備しておられ、団扇太鼓を本堂に取りに行き、圓頓寺のハッピを着て本堂前に行きました。

その後も子供二人を含むご家族など来られました。

午後七時になり、住職が本堂前で出立の祈りをささげて、住職を先頭に、提灯と寒行札を収めた箱を持った中原総代、檀信徒が続いて山門を出ました。今日のコースは、大宮通く大宮町く原町く栗林く桜町く上広町く圓頓寺でした。

今日も、家の前で待っていてお布施を中原総代に渡し、寒行札をいただかれています。また、御夫婦で待つておられた方もおられました。団扇太鼓の音が聞こえてから出てこられたのでしょうか、最後尾で提灯と寒行札を収めた箱を持った松下仏壇店の人にお布施を渡

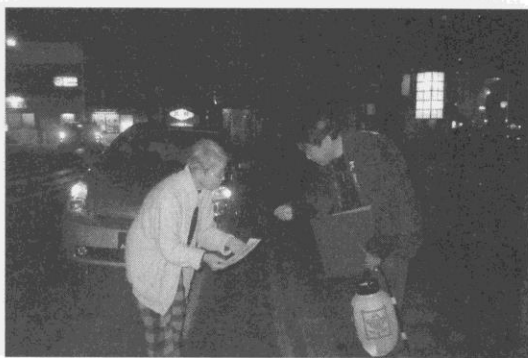
航空券・JR・個人旅行・団体旅行

株式会社 **ワールド観光**

TEL 0968-72-5656

玉名市中尾426-3

した方もありました。
 一時間後圓頓寺に帰着、住職が本堂前で祈りをささげ、檀信徒会館で、中原総代が参加者数とお布施額を報告、お題目三唱して、お接待の方が作られたうどんをいただき、しばらく談笑しました。お菓子を修行途中にいただいた中原総代は、子供さんへプレゼントされました。



寒行札を渡します



お寺へ帰着・石段を上る

極寒の日も寒修行
 最強寒波の影響で、水道管断裂等に伴う断水、道路凍結による交通事故・立ち往生や転倒、鉄道・バスの運休や高速道路・一般道路の通行止め、大雪によるビニールハウス倒壊などが数日続きましたが、厳凍の日でもどんなに寒くても、寒修行は休まず行われたそうです。

今日の御接待は、院首上人差入れのシュークリーム、緒方仁市さん差入れの芋羊羹がテーブルに準備してありました。芋羊羹は美味しくて、何人もお替りしていただいています。私は仏壇に供えるために食わずに残したシュークリームと共に、芋羊羹も厚かましくも貰って帰りました。私が参加しなかった日も、それぞれ

お掃待にも感謝
 二回目参加のコースは栄町→南本町→下町→大橋通→宗方→中町→泉町→西上町→日吉町→天神町→東通町→堀明町→九日町でした。この日も家の前で待っておられた方、寒修行の列に走り寄ってきた方、通りすがりにお布施を渡され方などがあり、ありがたく思いました。



郷土に生まれて味ひとすじ

仏・祝会席・鉢盛・寿司

プラザ店 ☎ 44-4743 ☎ 43-1739
 中町店 ☎ 44-0055
 仕出部 ☎ 44-5804



れ差入れご奉仕があつて
たと思ひます。感謝です。



寒修行の栗原会長、松尾上人

成満会・慰勞会

最終日一月二十八日の天
気予報は降水確率八十%で
した。しかし、お寺を出発し
た午後六時には、曇り空で
したが雨は落ちてきません
でした。住職を先頭に修行
行脚しましたが、今日心を
打ったのは、合掌して寒修
行団を迎えた方がいたこと

でした。また、後ろから走っ
てきて、合掌して中原総代
にお布施を渡した方もあり
ました。今日は五十分ほど
で街を歩く修行は終わり、
本堂で成満会・信行会が行
われました。

そして恒例・楽しみの慰
勞会が本堂で行われました。
中原総代が参加者数・お布
施を報告。住職、栗原護持会
会長が挨拶、井上顧問の乾
杯で始まりました。しばら

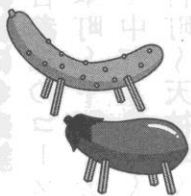


寒修行成満・慰勞会

く歓談しましたが、今日の
ご接待は栗原護持会会長が
栗団子、原護持会会計が完
熟さんかん、山本美代子さ
んからは多くの手料理が差
入れされ、刺身、とらやの羊
羹、のっぺ汁もあり、大変豪
華な慰勞会となりました。
八日間で身も心も温かくなっ
た寒修行でした。

入道路が凍結した日もあつ
た寒修行ですが、中原康一
総代、緒方仁市さん、中原巨
人さん、瀬口ミス子婦人会
会長、東島広子婦人会会計、
伊藤千恵子さんが満勤でし
た。尊敬し、敬意を表します。

(編集委員・谷)



株式会社 松下仏壇店

大牟田本店

大牟田市上町2丁目2 上官通り
☎0944-56-3675

熊本店

熊本市中央区上水前寺1-12
(東バイパス熊工前)
☎096-384-5666

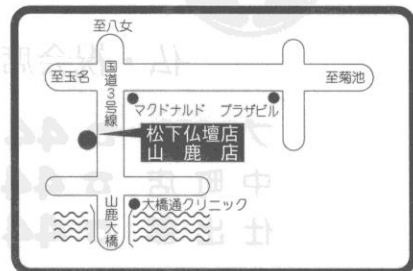
玉名店

玉名市中平畑1832 玉名高校入口
☎09687-4-4840

山鹿店

山鹿市大橋通り404
☎0968-43-5665

●仏具のご注文がございましたら、
多少にかかわらず配達いたします



お彼岸法要・鬼子母神大祭

木村上人法話「良き縁を」

三月二十八日は恒例のお彼岸法要・鬼子母神大祭が行われました。時間前です。が参詣のお檀家さんが三々五々とみえ、受付を済ませています。

法話は、南阿蘇村「妙圓寺」住職・木村俊元上人にいただきました。木村上人を太鼓とお題目でお迎え、住職が木村上人を紹介し始まりました。木村上人はお題目三唱後「南阿蘇村、旧長陽村・妙圓寺の木村俊元と申します」と自己紹介され、法話に移られました。



木村上人の法話

の六角堂の前住職、植川元浄上人で、九年間仕えましました。妙圓寺に入って十年になります。十四年ぶりに大荒行第再行に入りました。八十六kgの体重が六十六kgになり、私服の時は檀家も気付かないほど、体重が減る荒行。午前二時三十分起床。午前三時に始まり午後

十一時に終わる七回の水行。あとは勤行、お経をあげる。食事は粥とみそ汁のみ。睡眠は二時間ちよつとで体力と精神力です。檀家の思いも背負って十一月一日に入行。荒行堂の鬼子母神様は合掌しています。鬼子母神様を見た瞬間涙が出ました。感謝とやつと入行できた、という気持ちがあふきました。行堂と呼ばれたと思つたのが縁でした。縁は仏教にとつて深い。入行前日行僧に会つた時、①十四年ぶりで知り合いはいないと思つたが、初行の時の僧が三人。②初行の時に再行だった上人がおられた。③初行の時の四行の上人の息子さんが初行入行。④堂を出た次の日、鎌倉で水行があつたが、三人の初行同期僧がいました。鬼子母神

この街と生きていく face to face

熊本第一信用金庫 山鹿支店

〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿1616-7

TEL 0968-44-4125

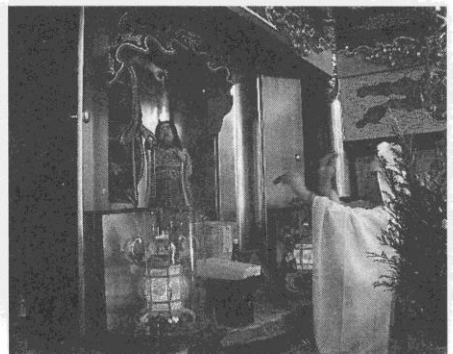


鬼子母神大祭お参りの子供たち

様の縁をいただいた行でした。圓頓寺に來たのも縁。一三四名全員で成満、全員で行堂を出られたのも縁。などと話され、『今日もより一層お題目を唱えて、良き縁をいただいで、一日日を大切に過ごして下さい。』と法話を終わられました。(編集部・平成二十八年熊本地震の被害、妙圓寺様、木村俊元上人、お檀家様を案じております)

宋法話後、二田中総代が奉仕当番地区の方へ御礼、大黒尊天大祭の案内、護持会会費納入のお願い、四十四回写経の会の案内をし、栗原護持会会長が、お参りの御礼をして、三月十六日の護持会総会で本堂の改築について詳しく説明し、二十八年度から改修に取りかかることを決定した。本堂の化粧部分は熊本県で例を見ないもので、先達の心を受け継いで、新築でなく改築をしたい。ご苦勞をおかけしますが、ご協力をお願いします。と挨拶し休憩をしました。

お彼岸の法要は、式衆を大太鼓、団扇太鼓とお題目でお迎えし、住職英人上人を導師に、院首英知上人、妙圓寺の木村上人、大安寺・秋吉上人、龍王寺・福山上人の



鬼子母神尊像を切火で清める

出仕で厳修されました。水行式は英人上人、木村上人、秋吉上人、福山上人が水をかぶられました。鬼子母神大祭は、住職英人上人を導師に院首英知上人、木村上人、秋吉上人、秋吉上人の出仕により鬼子母神尊像前で厳修されました。終了後英人上人が、鬼子母神様は仏教の守り神であること、本堂改修へのご理解とご協力をお願いします。と挨拶して、参詣の檀



宮川葬祭 TEL (0968) 43-2211

フリーダイヤル 0120-45-0948

山鹿
天龍会館

TEL (0968) 44-0444

信徒は会館へ移動し、当番地区の方々、婦人会会員が準備されたおときをいただき、「鬼子母尊神」のお守

大黒尊天祭

任職賞が当たると

護持会顧問 井上 勝介



★あいにくの雨の中、本年も立教開宗法要と大黒尊天祭が五月三日、盛大に行われました。

りや子供さん用のお菓子、それぞれに祈願されたお札を手に帰途につかれました。
式子(編集委員・谷)

圓頓寺六大法要の内でもこの法要が、例年最大の参詣者があります。檀信徒の方々が受付をしておられます。婦人会の皆様の手作り惣菜のバザー等が大賑わい

です。時間になり半鐘が叩かれ、任職を始めお上人が入堂、「立教開宗会」の読経・法要があり、続いて院首英知上人を導師に「大黒尊天祭」が営まれ、皆様の祝福を願い、任職、院首上人を始めとする式衆の皆様の手が続きます。



大黒尊天祭は院首上人導師

皆、その祈りの敬虔な気持ちが冷めやらぬ中、法要が終わり、任職が挨拶され、婦人会、当番地区の方々の心づくしの御馳走をいただき、福引会場である本堂へ移動しました。
大黒尊天祭が始まって以来、総代だった私は「井上組」として、心ばかりの品を景品としてお供えしてきましたが、毎年、何がお檀家さん



お題目からはじまる。

ビル新築工事から増改築まで何でも致します

住宅金融公庫その他手続代行

井上組

有限会社

井上 勝 介

熊本県山鹿市下吉田691番地

TEL. 43-2204

朝日新聞

山鹿専売所

山鹿市上広町344の7

☎43-2664

藤本 俊 範



寒修行の井上顧問・前列右

に喜んでくださるだろうか、
と思いを巡らすのも楽しみ
でもあり、また苦勞もしま
すが、皆様の笑顔に癒され
ます。

今年も早々に参内し受付
を済ませ、参詣の皆様と世
間話しに花を咲かせていた
時、当番地区として給仕に
来ていた家内の福引券をい
ただこうと受付に行ったら、
丁度原総代と一緒になり、

その時提示された番号が、
「二十七番」「二十八番」で
した。「原さん、どっちが良
かかった。」「二七はカブで、
二八はブタだけん、自分は
二十七番の方が良か(注・
花札の用語です)」との事。
その時明暗が分かれた事は、
知る由も無く「二十八番」を
家内に渡しました。
英人上人が打出の小槌を
回されながら、大黒尊天五
徳を唱和の後、福引が始ま
りました。
檀信徒の皆様のお喜び交々
のうち、福引が進み、いよ
いよ最後の住職賞となり、
住職が番号を引いて係の人
より発表があり、暫く待つ
も名乗りがありませんでし
た。それではと、お寺に由緒
がある数字が示されました
が、また沈黙。それではと発
表されたのが「二十八番」で

した。勿論住職上人と談合
するはずもなく、家内の方
を見ると戸惑っている様子、
住職賞の付録「圓頓寺たよ
り」の原稿に困っている様
子「皆さん二十八番な、お
前が持っているのと知つとな
はつとた。早う行かんか」と
家内を促す。
実は二年前にも家内に住
職賞の栄をいただき、帰っ
てから付録の原稿について
もめ、その後始末を私がい
ました。ちなみに、その時
いただいた住職賞の「空
気清浄機」は今、姪の所で小
さい子二人の健康に寄与して
います。
また今年もその栄に浴し、
この運がいつまでも続きま
すように、と大黒天尊像に
手を合わせ、帰途に就きま
した。
合掌

大小宴会・会食

祝儀・仏事・会席・鉢盛・折詰

横手会館 横手仕出し

山鹿市九日町(八千代座前)

TEL. (0968) 43-2206

割烹よこて

肥後銀行前 TEL. 43-7500

婦人会長賞に感謝の一筆

山鹿市大橋通 古家吉江



熊本地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。ごちそうま
恩新緑が雨にうたれて美しい五月三日、立教開宗七百六十四年護法報恩会と大黒尊天大祭の法要が厳修され、お題目を通じて、被災地のご祈祷と共に、力強い読経が唱えられました。

その後檀信徒会館にて、婦人会、当番地区の皆様手づくりのおときを、親睦を深めながら、感謝の気持ちで、美味しくいただきました。前日からの準備、赤飯づくりから販売まで本当にご苦労様です。
昼食を済ませ、本堂にて毎年恒例の福引会に参加しました。今年も、最初に参加した子供全員にお寺からお菓子がプレゼントされました。その後子供による特別福引がジャンケン大会でありましたが、一人でできる子供たちと赤ちゃんの参加もあり、お母さんが代理でグー、チョキ、パーと繰り出し、優勝者と全員に住職か



子供にお菓子のプレゼント

ら図書券が贈られました。続いて参詣檀信徒の一般福引があり、全員にそれぞれの賞品が渡されたのち、三十ほどの協賛檀信徒、関係者から提供された賞品の特別福引が行われました。特別賞は提供された人や住職がくじを引かれ、次々に賞品が渡されていきます。最後に、婦人会会長賞(八十九番)が当たりました。

毎度ありがとうございます
米・肥料・農薬・たばこ
(全商品配達致します)

(有)あそしな米穀店

代表取締役 阿蘇品 和彦
☎ (0968) 43-2526
無料電話 0120-23-2526
山鹿市大宮町641-2

熊本日回新聞

(有)熊日山鹿南販売センター

山鹿市大宮町439

阿蘇品 雅彦

社会福祉法人 大道福祉会

若葉保育園

理事長 阿蘇品 洋介
園長



山鹿市鹿北町 田中悠琉
代筆(母) 田中麻由

九か月の息子に特別賞

最高に美しい満開の、ハ
イビスカスとアジサイの花
と、圓頓寺たよりの原稿用
紙をいただきました。大黒
さまより、くらしの五徳を
いただいたものと思い、報
恩感謝の気持ちで一杯です。
本当にありがとうございますま
した。

この度は、大黒尊天祭に
おいて子供福引特別賞とい
う素晴らしい賞をいただき、
ありがとうございます。
甥っ子より、『お寺は、太
鼓もたたけて楽しいよ。ジャ
ンケン大会もあるし。去年
は俺が優勝したけん。』と
得意げに誘いを受け、九ヶ
月になる息子と参加させて
いただきました。普段は仕
事で、なかなか足を運ぶこ
とができませんでしたが、

こうして、六大法要に参拝
できることの幸せな私、庭
いじりが好きでガーデニン
グで癒される幸せな私、花
と共に暮らし、これからも
日蓮大聖人様のお言葉を信
じて、家族で精進して行き
たいと思います。合掌

福引特別賞提供者

(順不同、敬称略です)
圓頓寺住職、同子供賞、福
岡・妙教寺、甘木・大安寺、
唐津・龍王寺、福岡・元寇園
教会、松尾英勝、圓頓寺本総
代会、圓頓寺婦人会、圓頓寺
信行会、染と織おにき、井上
組、熊日新聞南販売店、中原
電機、原文雄、とらや商会、
ワールド観光、阿蘇品組、盛
文社印刷、寿司処喜久屋、朝

今回初めて参加し、甥っ子
に続き、息子代理の姉が優
勝し、驚きとともに楽しい
時間となりました。
今までは、お寺はなかな
か近い存在ではありませ
んでしたが、今後は時間が合
う時は、お参りや講話に参
加させていただきたいと思
います。合掌

サンロード大住

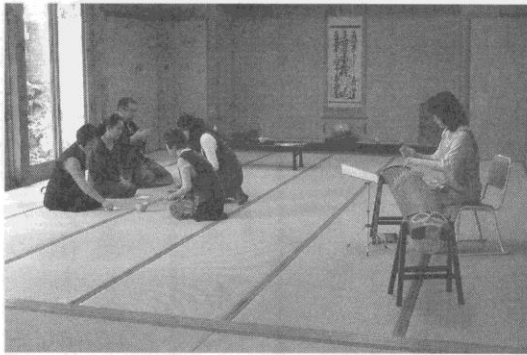
山鹿市古閑 1286-3
☎ 44-6277

日新聞山鹿店、イタリ亭、熊本第一信用金庫山鹿支店、味処・花見坂、木庭一博、井

気軽に寺小屋

去る五月十九日、新緑美しい五月晴れに合わせ、『気軽に寺小屋』と題しました。この催しは、山鹿市立幼稚園の元園長の小川氏による企画運営で行われました。普段、寺院にご縁の無い方々を対象に発案されたものです。寺院を一般に向けて開放して、寺小屋会の趣で種々の企画が執り行われました。住職講話では、檀信徒の法会とは違い、一般的な仏事作法の基礎と意義といった、初めて僧侶から法話を

如当山の築山を愛でながらのお茶会では、茶道の心得



琴の音の中・お茶をいただく

拝聴されたであろう人たちにも、今後のためになるようなお話をさせていただきました。

幼児向けでは、絵本の読み聞かせ会。また季節柄、浴衣の着付け教室も盛況でありました。他にも、お琴の演奏や雑貨・お菓子の販売もありました。

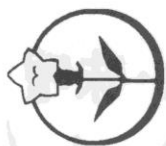


読み聞かせに聴き入る母子たち

が無い方々にも、親切にお茶席での作法の意義をご教示いただきながら、喧騒を離れての清涼なひと時を味わうことができました。

歴史と文化の街 日本一の装飾古墳と八千代座

山鹿温泉



清流荘

鹿門亭

〒861-0501 熊本県山鹿市下町1768

電話 山鹿 (0968) 43-2101(代)

ファックス (0968) 43-5153

これらのご縁を通して、日頃、お寺に縁の無い方々へお寺を開放することにようり、お寺とは一体どういうところなのか、といった素朴な事柄も、参加者それぞれに肌で感じ取っていただけたようです。

明治の学制発布以前は、それぞれの地域の寺院が、寺小屋として初等教育の役割を担っていました。その歴史を踏まえ今回は、平成版の寺小屋として『気軽に寺小屋』が開かれ、老若男女にかかわらず、多くの参加者に恵まれました。

このことは、法華経の經文「悉く是れ吾が子なり」との仏さまの御心に添うものです。仏さまから見れば、大人も子供も同じ仏子です。仏さまの子なのです。日仏さまの子が沢山集い、

当山が活かされた、この平成版の寺小屋会は大変有意義なものとなり、また大きな功德を生み出し分かち合うことができました。

質問箱

その⑫

前号で「おつとめ」の仕方を教えてもらったQさん、お仏壇については、平成十四年一月の第六十一号にありますので、月命日の回向に見えた住職に、お檀家Qさんが聴いています。

法難という言葉は聞いたことはありますが、どんなことでしょうか。

住職

はい、「少々の難は数知れず、大難四箇度なり」(種種御振舞御書)と、日蓮大聖人が自ら述べられているように、迫害の連続でした。

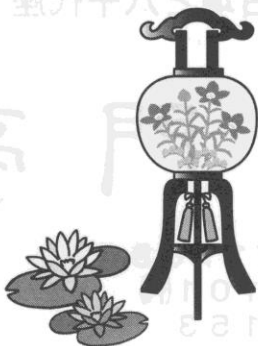
Qさん

お仏壇は、圓頓寺たより第六十一号にありますので改めて見てみますが、圓頓寺たより前号の婦人会長さんが年頭のご挨拶で、日蓮大聖人の法難が五度あったと書いてありました。

五度でなく、数知れない法難にあわれたのですね。住職 大聖人の生涯を少しだけ述べます。大聖人は鎌倉時



マルカメ醤油・味噌
灯笼しょうじょう



山鹿市中1000-2
☎ 44-3131



「善日磨像」東京台東区・蓮華寺

代の承久四年（一二二二年）

四月に貞応に改元）二月、安房国東条郷小湊（現在の千葉県鴨川市）で誕生され、幼名を「善日磨」といいます。十二歳のとき清澄寺に登り、道善坊を師匠として基礎的な教育を受けることになりました。

Qさん

十二歳から宗教の勉強を始めたのですか。

住職

善はい、本格的な基礎教育は清澄寺からですが、義浄房、浄願房に幼い時から教

育を受けていたようです。

Qさん 宗の山門に日こやはり、幼いころから勉強していますね。蓮華寺の

住職

法難ですが、教法を弘め布く際に受ける迫害、あるいは、仏教に対する弾圧事件などを言います。

Qさん

法難とはひとつのことではなく、いろんな状況があるんでしょね。

住職

はい、大聖人の法難を説明いたします。

松葉ヶ谷草庵の焼打ち

住職

大聖人は、「立正安国論」を一二六〇年（文応元年）七月、前執権の北条時頼に上程しました。

Qさん

「立正安国論」とはよく聞きますが、どういうものですか。

住職

当時の日本は、鎌倉を心に大火、大風、洪水、大地震や飢饉、疫病などの災害が連続して起きていました。

Qさん

そんな災害の様子が分かるんですが。

住職

鎌倉幕府の日記「吾妻鏡」に克明に記録されており、大地震で、山は崩れ、家は壊れ、地割れもあり、復興がままならないうちに悪天候に見舞われ、飢饉によつて疫病も流行し、飢饉は全国に広がります。

Qさん

大聖人は、そんな状況で心配されたのでしょうか。

住職

松葉ヶ谷草庵で書き上げた「立正安国論」は、天変地異の原因は誤った信仰にあると述べ、日本の現状と将来について考え、提言する内容の文で、客と主人の間答する形になっています。

Qさん

上程された「立正安国論」は、どうなったのですか。

住職

幕府からの返答はありませんでした。そして、「立正安国論」で批判され、恨みを持った諸宗の人たちが、一二六〇年（文応元年）八月、大挙して松葉ヶ谷の草庵を襲い、僧侶や信者を殴打し、草庵を焼打ちにしたのです。

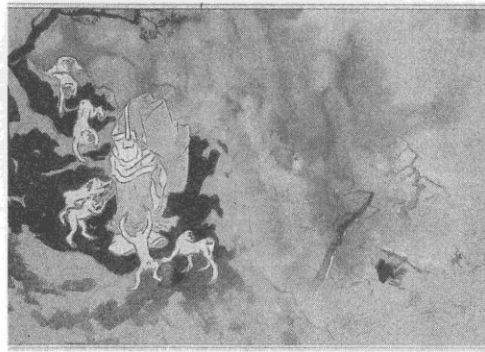
Qさん

襲われた大聖人はどうなりましたか。

住職

幸い大聖人は、白い猿に

導かれてこの難を逃れ、下総の富木常忍のもとへ身を寄せ、この地を中心に布教をすすめました。



白い猿に導かれて難を逃れた大聖人

Qさん
難を逃れられてよかったですね。

住職

富木常忍の元に身を潜めた大聖人でしたが、再び松葉ヶ谷に草庵を建てて、弟子とともに布教を再開しました。

Qさん
殺されそうになったのに、布教を再開されるとは、すごい精神力ですね。

松葉ヶ谷
神奈川 鎌倉市 大町 名越の一地域

富木常忍

下総(現在の千葉県北部)の有力な檀越。一二年三年(建長五年)日蓮宗に帰依。日蓮大聖人から多くの書状などが送られました。日蓮大聖人没後出家して「日常」と号し、日蓮大聖人の御遺文の収集につとめました。

参照…絵で読む日蓮聖人のご生涯。日蓮宗のしきたりと心得。日蓮宗の仏事。日蓮宗の教え、他。

行事スナップ



鬼子母神大祭・唱題行する参詣者



初講・婦人会代表一字一石写経



合同大掃除・笠も綺麗に



大黒尊天祭・式衆を迎える

お寺の行事

土用丑の日

七月三十日午前十時

お盆お施餓鬼法要

○当山では例年の通り、七月三十日（土）に、ほうろく灸
祈祷会、お盆お施餓鬼先祖供養法要を催します。

○特別の追善供養をささげるとともに、世界の恒久平和実
現を祈る法要ですので、お家族そろって御参詣ください。

○五十回忌供養・お盆・先祖供養・初盆供養の塔婆供養御
希望の方は、早めにお申込み下さい。

一、施餓鬼三尺塔婆供養 二、〇〇〇円
一、特別六尺塔婆供養 五、〇〇〇円

○記念法話（午前十時）

○ほうろく灸祈祷は、九時三十分と十二時にいたします。

十月十三日（木）

午前十時

御会式法要

宗祖日蓮大聖人がお亡く
なりになった日で、大聖人
の偉大なご生涯をたたえ、
しのぶ大事な日です。

日蓮宗徒にとつて一番大
切な法要です。

御会式には御会式桜を奉
納しますが、これは、大聖
人が亡くなられたとき、時
ならぬ桜の花が咲いたとい
う故事にちなんでおり、全
国のお寺で行われています。

十二月八日（木）

午前十時

荒神大祭

お焚きあげ会

○一年間御護りいただいた
三宝荒神（地・水・火）
への感謝の法会。御先祖
への一年間の報恩感謝の供
養をささげる日。

十二月

合同大掃除

護持会、婦人会、信行会、
地区世話人、墓地所有者

檀信徒合同奉仕

平成十七年度～平成三十四年度

りっしょうあんこく
立正安国 ●
 だいもくけちえん
お題目結縁運動

日蓮宗

発行所

山鹿城趾

湯の町てら

常明山 圓頓寺

熊本県山鹿市山鹿温泉五五

☎ 四三二二四二四代

☎ 四四一五一〇〇

FAX・四三二七二八二八

電子メール: a0115@orange.ocn.ne.jp

ホームページ: www.entonji.jp

非売品

編集・圓頓寺たより編集委員会

印刷所

山鹿市下町一八〇七

有限会社

盛文社印刷

☎ 四三二二六〇四

FAX・四三一六〇七五

メール: info-seibunsha@hyper.ocn.ne.jp